

6-28 地殻活動総合観測線による観測結果（暫定値）
（1992年8月1日～1993年4月30日）

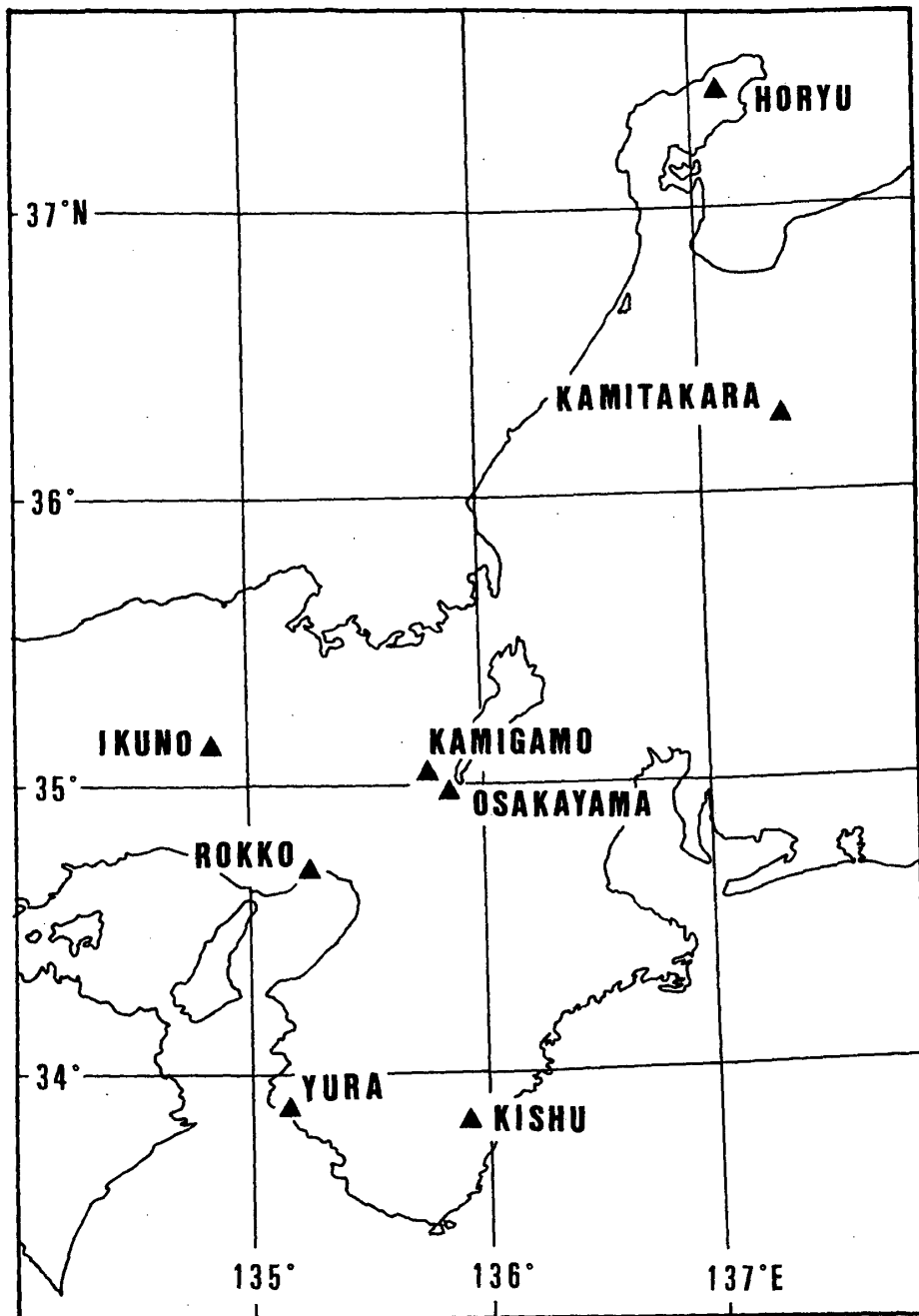
Results from Monitoring Chains of Crustal Activities in Kinki District
(Tentative Values) (August, 1992-April, 1993)

京都大学防災研究所

Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

北陸近畿および近畿山陰両観測線のうちから、第1図に示す上宝、逢坂山、上賀茂、由良、生野、六甲および紀州の7観測点における主な観測成分について、1992年8月1日から1993年4月30日までの9ヶ月間の観測結果を示す。紀州には3台の水管傾斜計を設置しているが、第12図の紀州の水管傾斜計についてのベクトル表示は、 $N89^{\circ}E$ と $N129^{\circ}E$ 方向の2成分の結果から合成したものである。なお、第11図および第12図では最近の3ヶ月のみのベクトル表示を示した。図は全て、変化が同じ大きさで表示されるよう縮率が成分毎に異なっているので注意されたい。したがって、表示期間における最大変化量が左側のスケールで示されている。

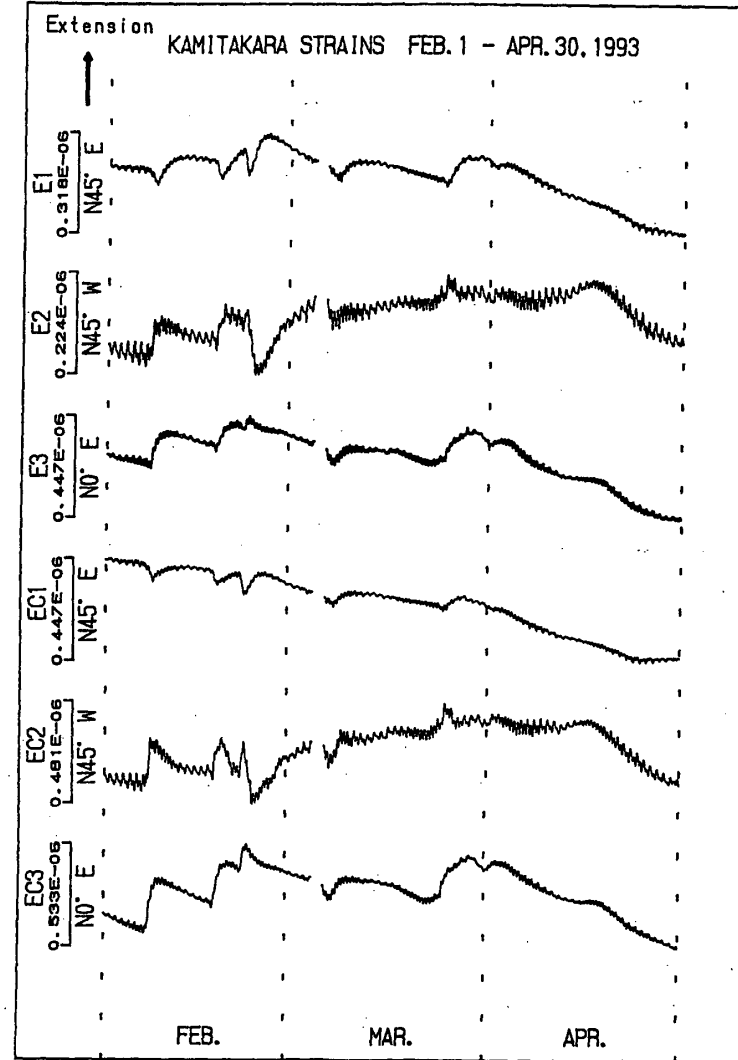
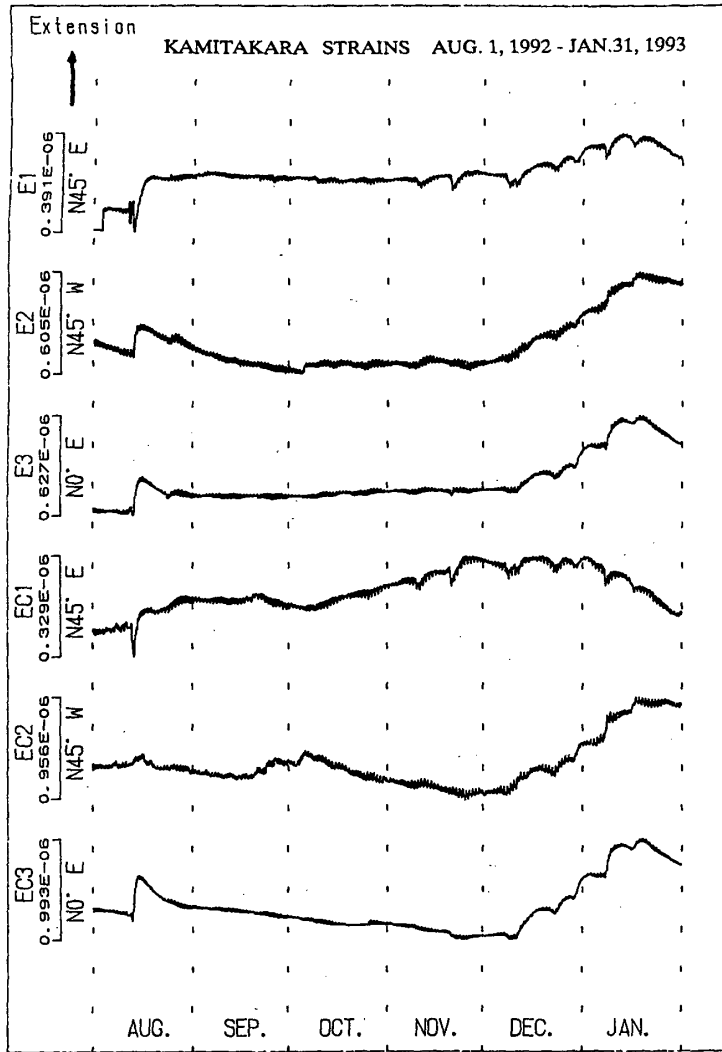
いずれの観測点とも、年周変化、降雨にともなって通常現われる変化、入坑調整などの際の人為的な擾乱を除き、特筆すべき異常は認められない。



第1図 位置図

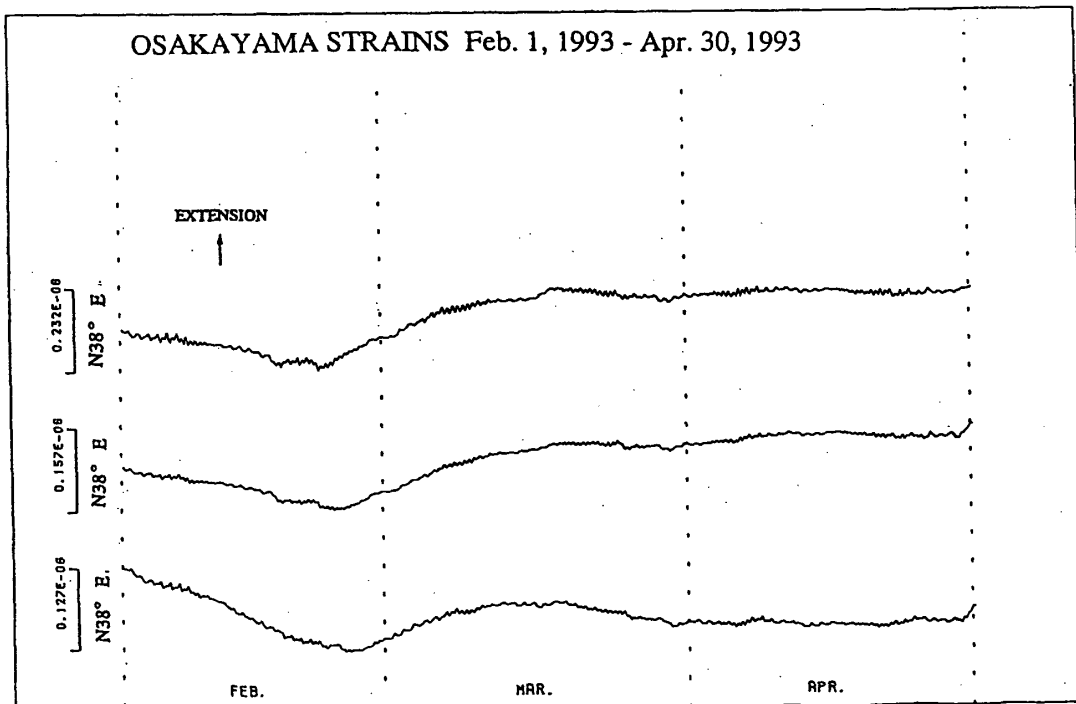
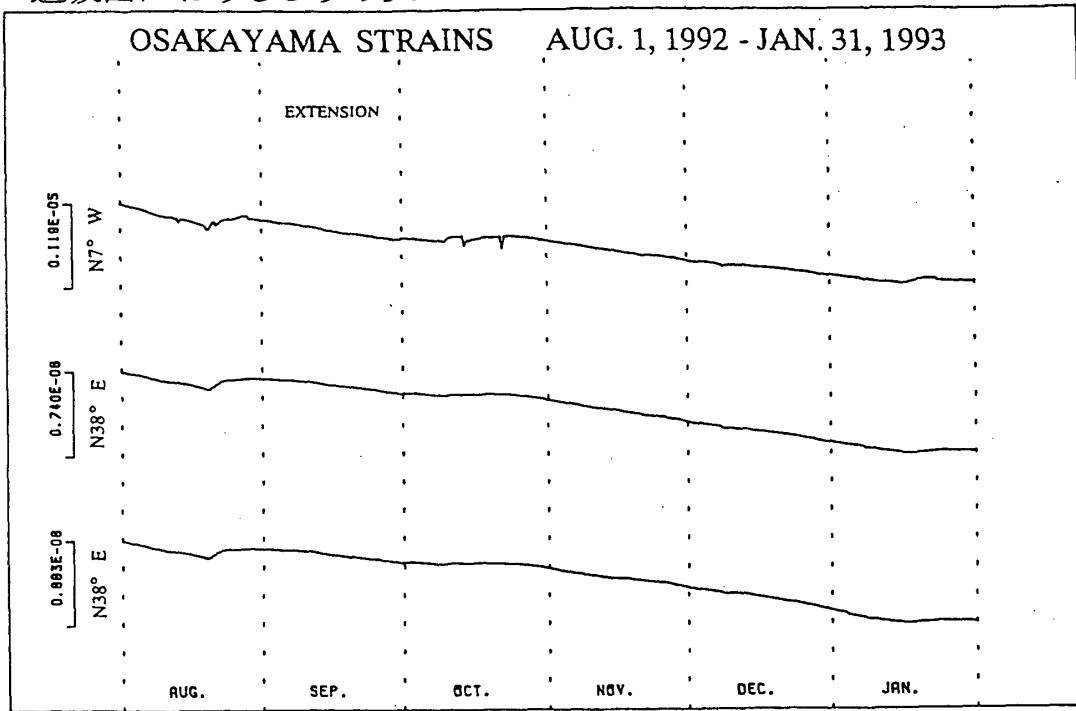
Fig.1 Observation stations

上宝におけるひずみ変化



第2図 上宝におけるひずみ変化
Fig.2 Strain changes at Kamitakara

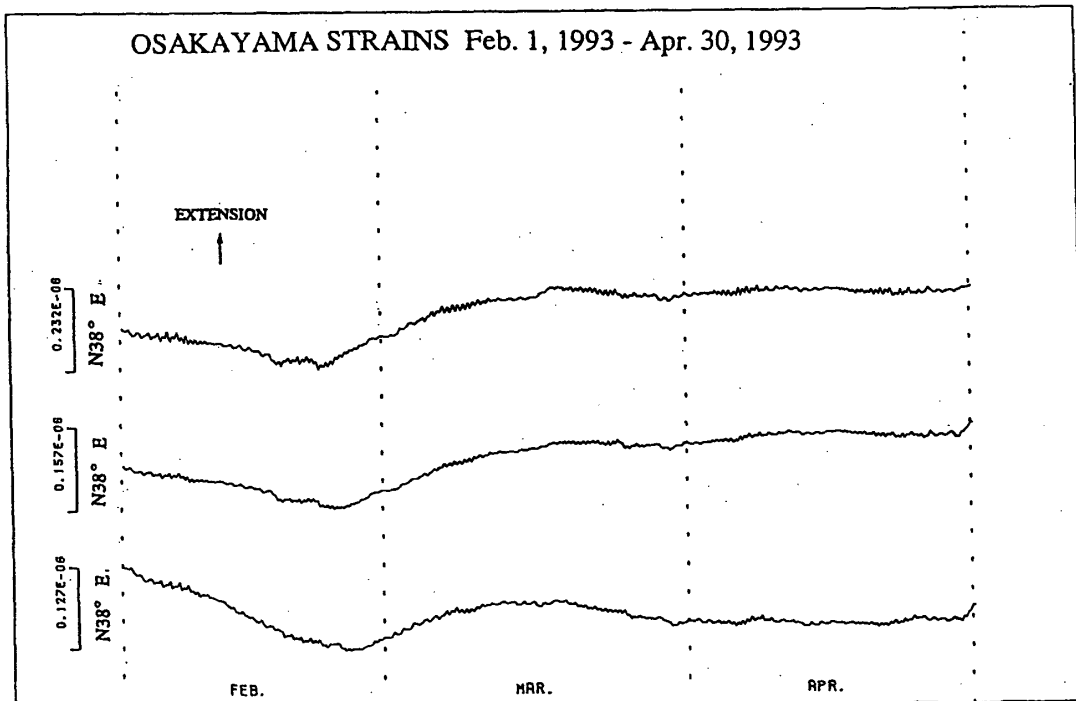
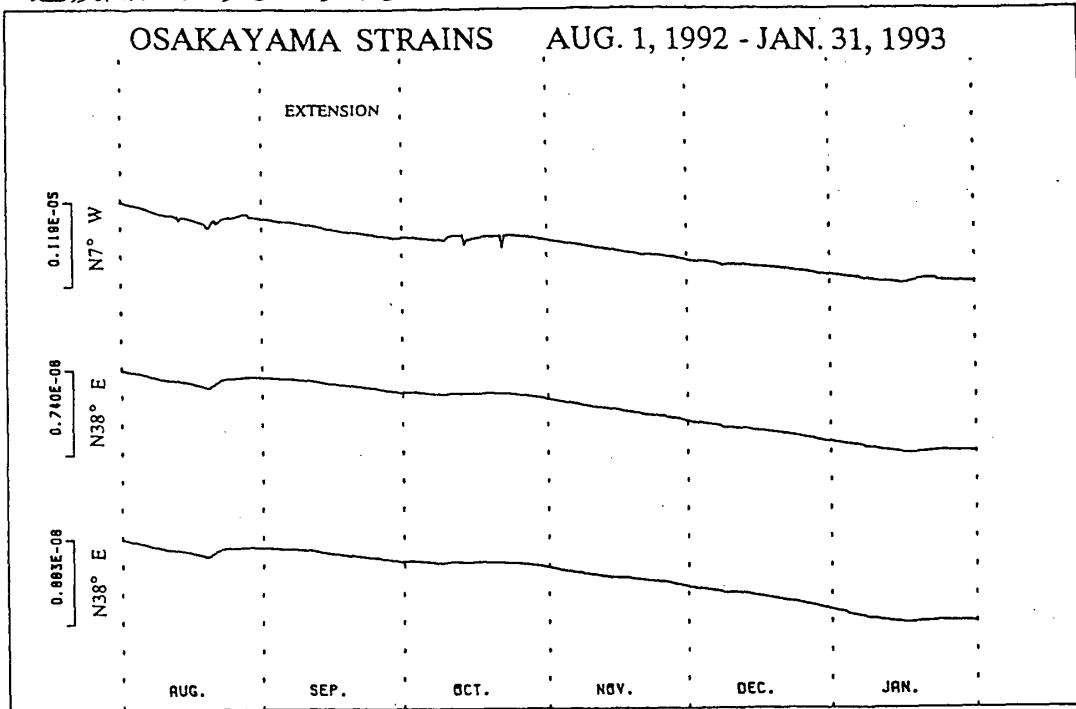
逢坂山におけるひずみ変化



第3図 逢坂山におけるひずみ変化

Fig.3 Strain changes at Osakayama

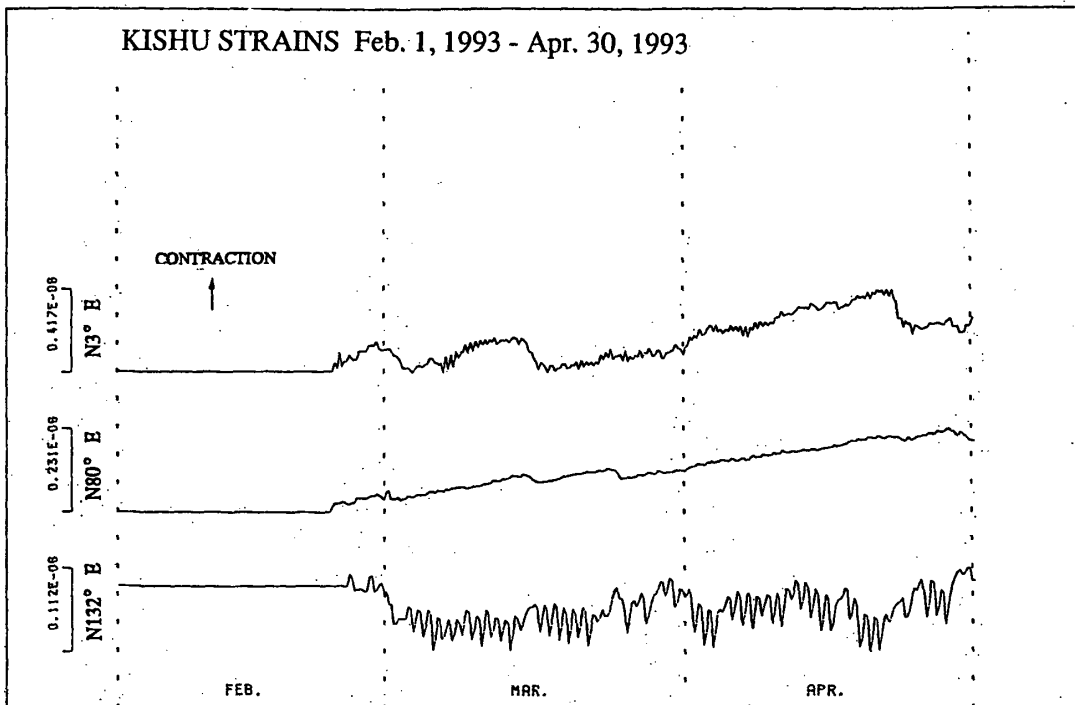
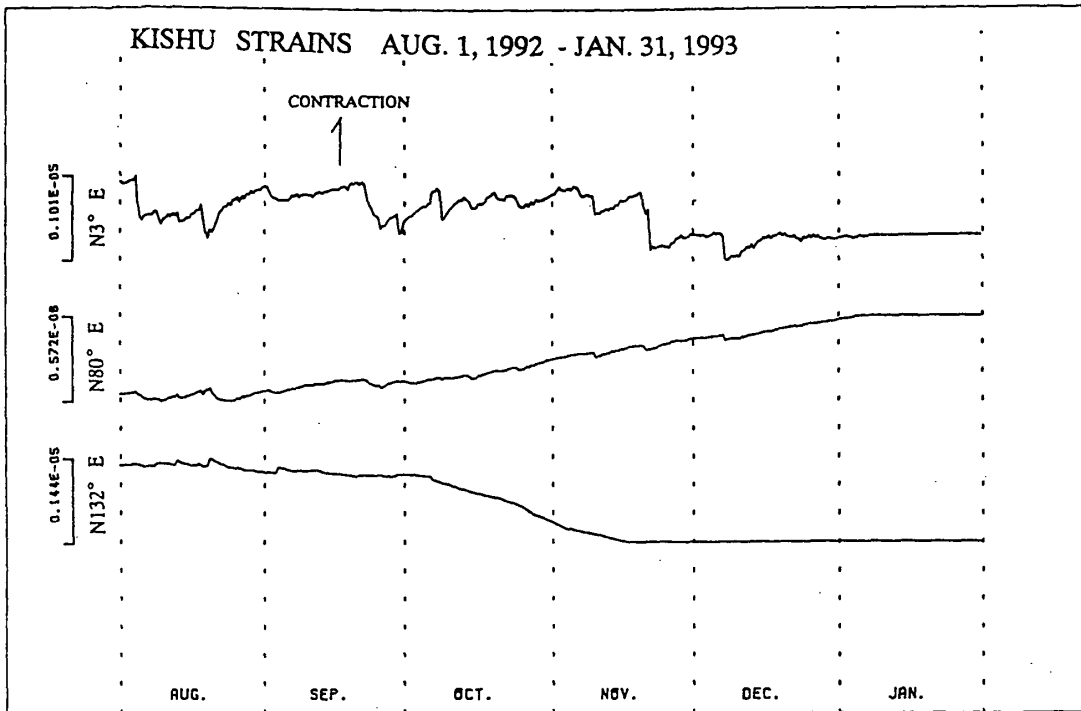
逢坂山におけるひずみ変化



第4図 由良におけるひずみ変化

Fig.4 Strain changes at Yura

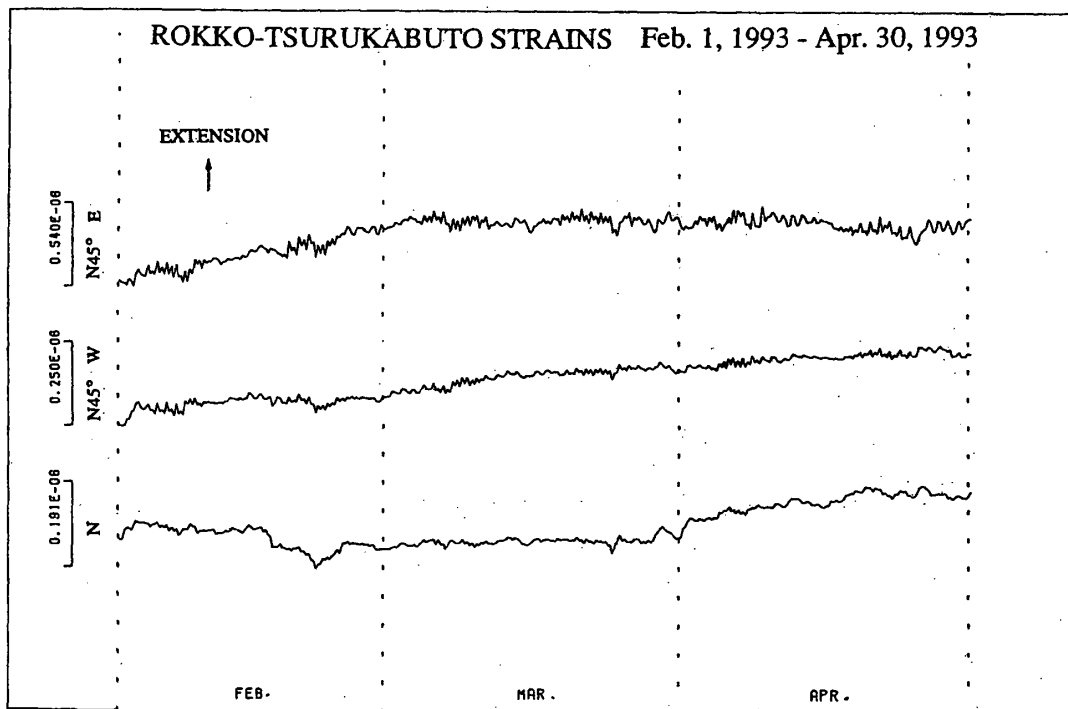
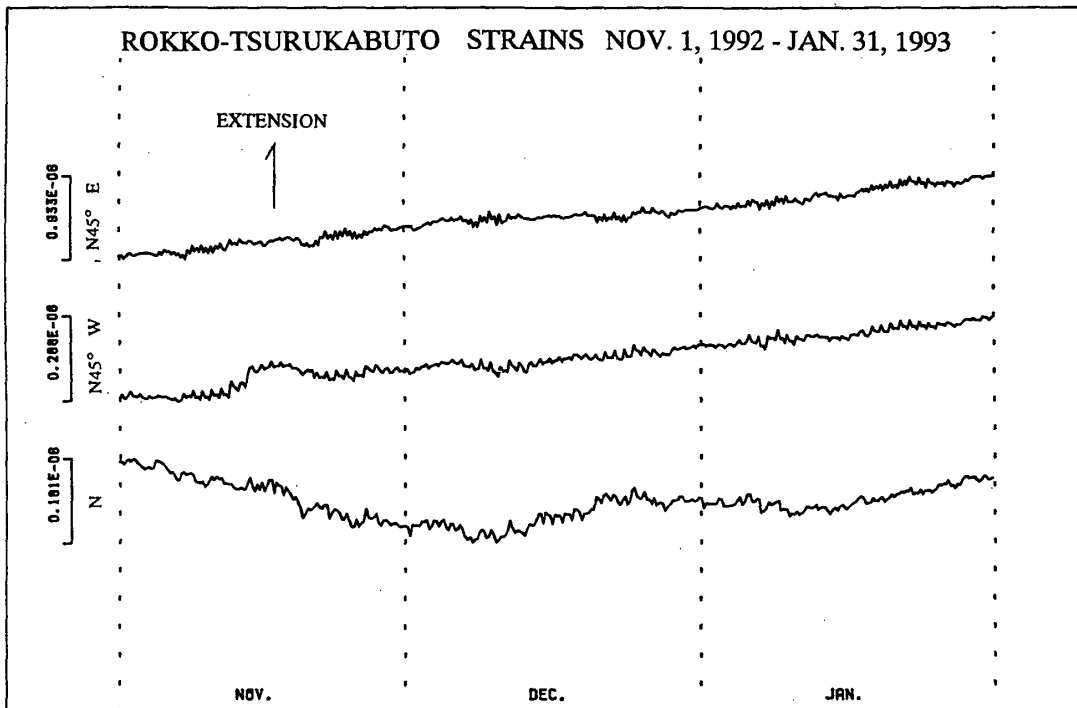
紀州におけるひずみ変化



第5図 紀州におけるひずみ変化

Fig.5 Strain changes at Kishu.

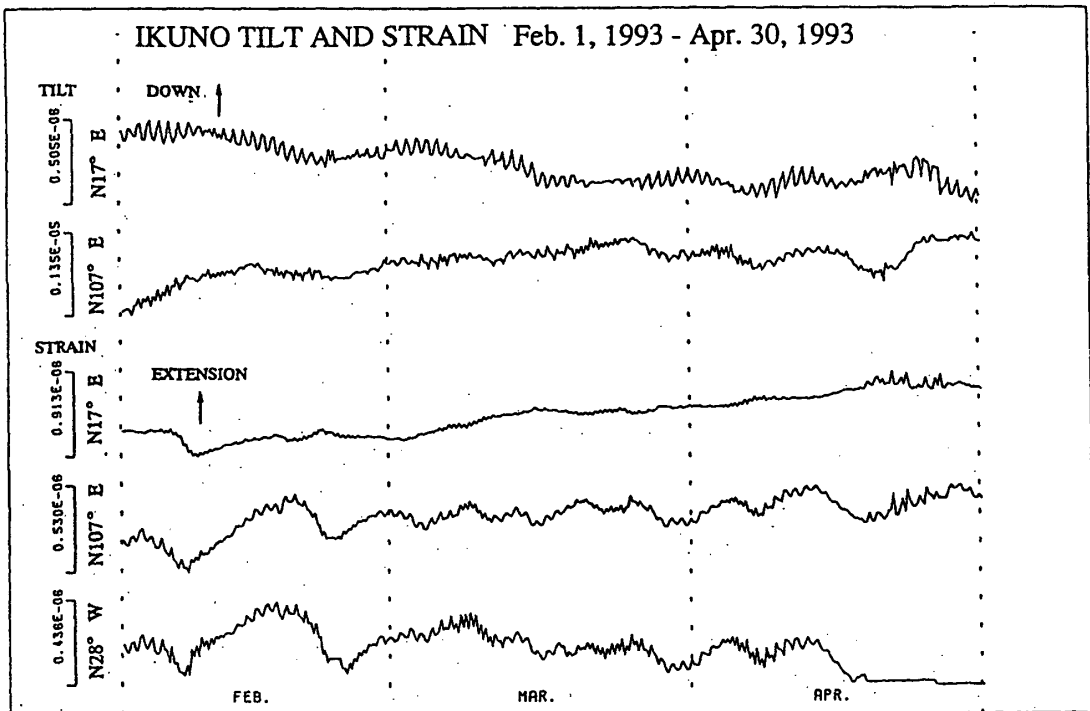
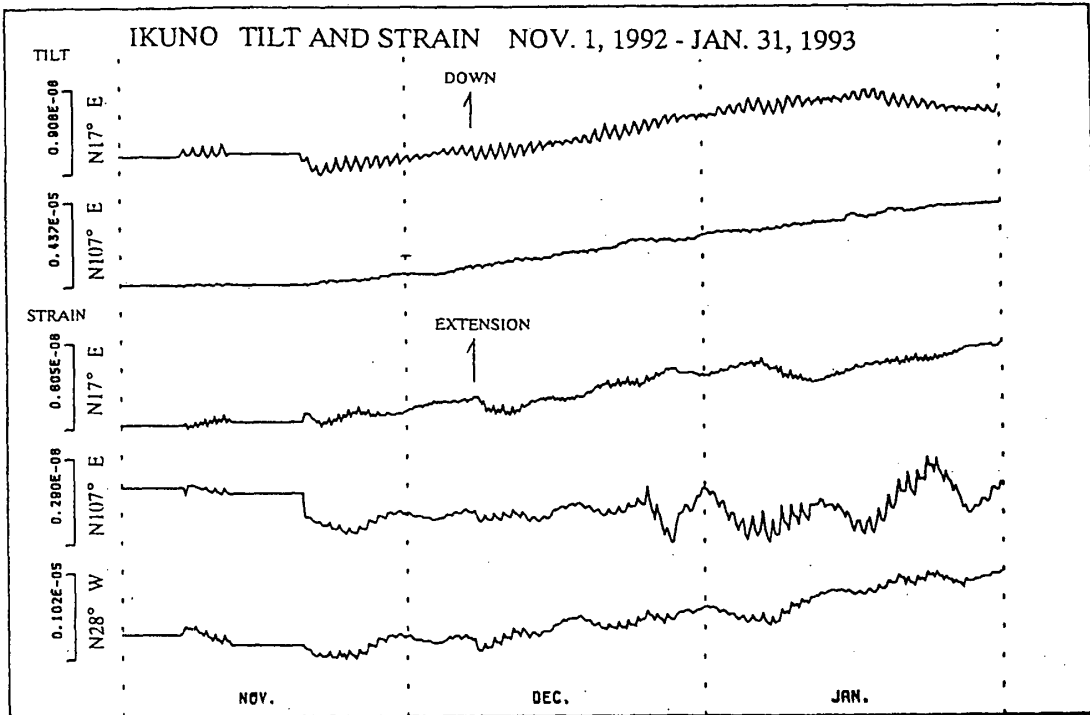
六甲鶴甲におけるひずみ変化



第 6 図 六甲鶴甲におけるひずみ変化

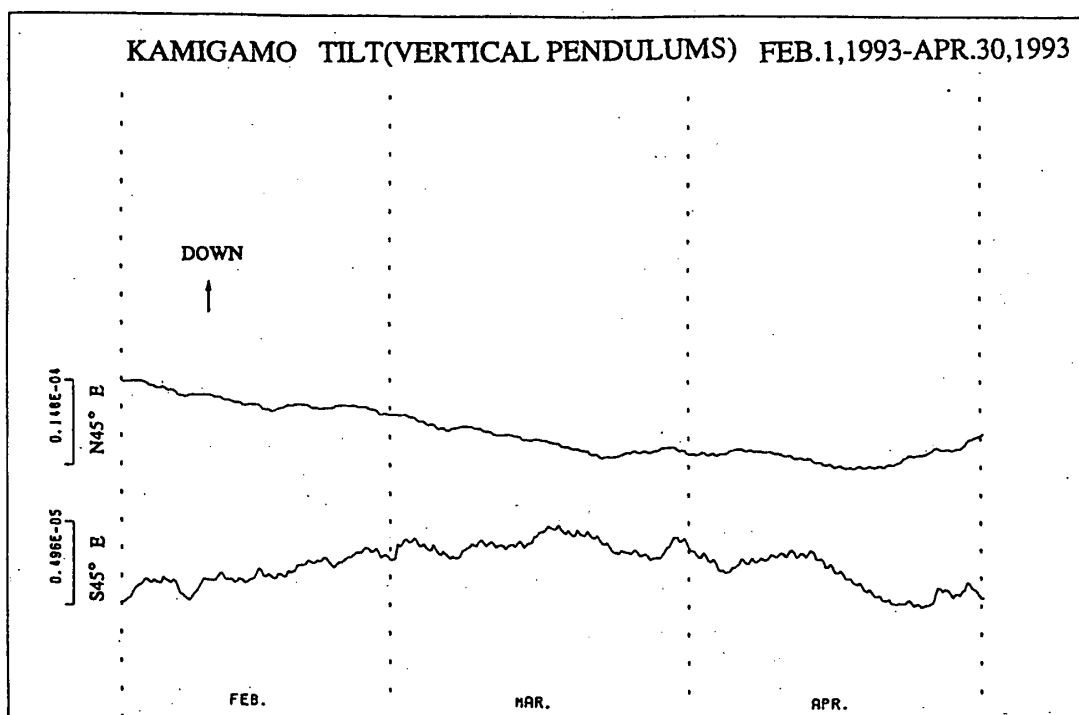
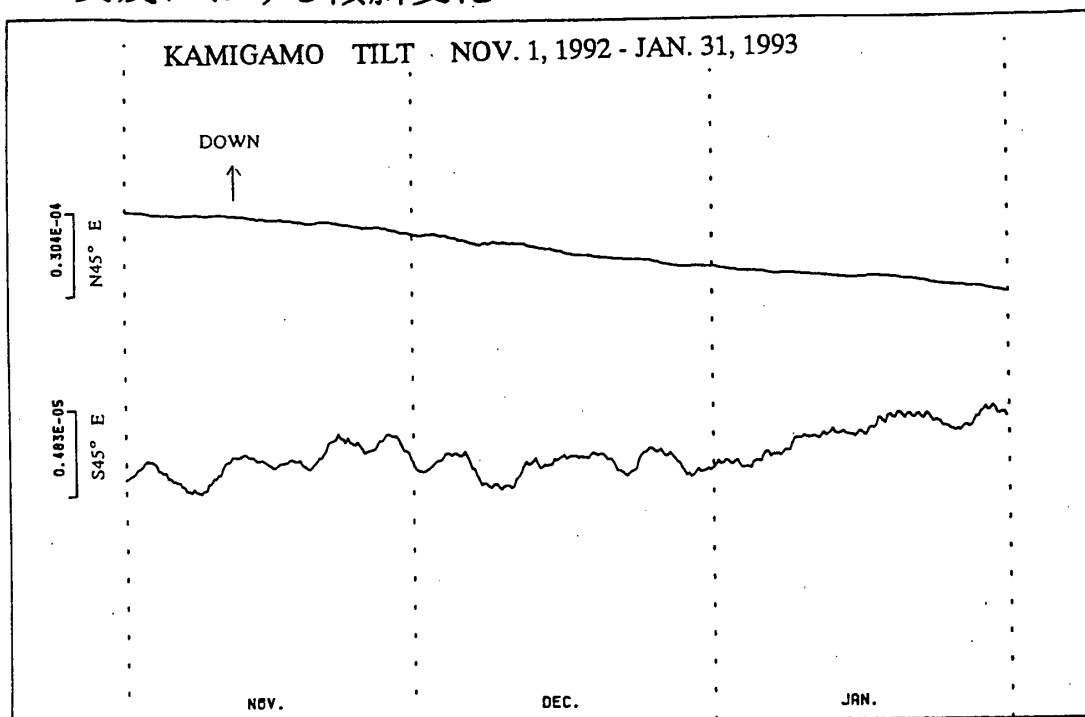
Fig.6 Strain changes at Rokko-Tsurukabuto

生野における傾斜, ひずみ変化



第7図 生野における傾斜ひずみ変化
Fig.7 Tilt and Strain changes at Ikuno

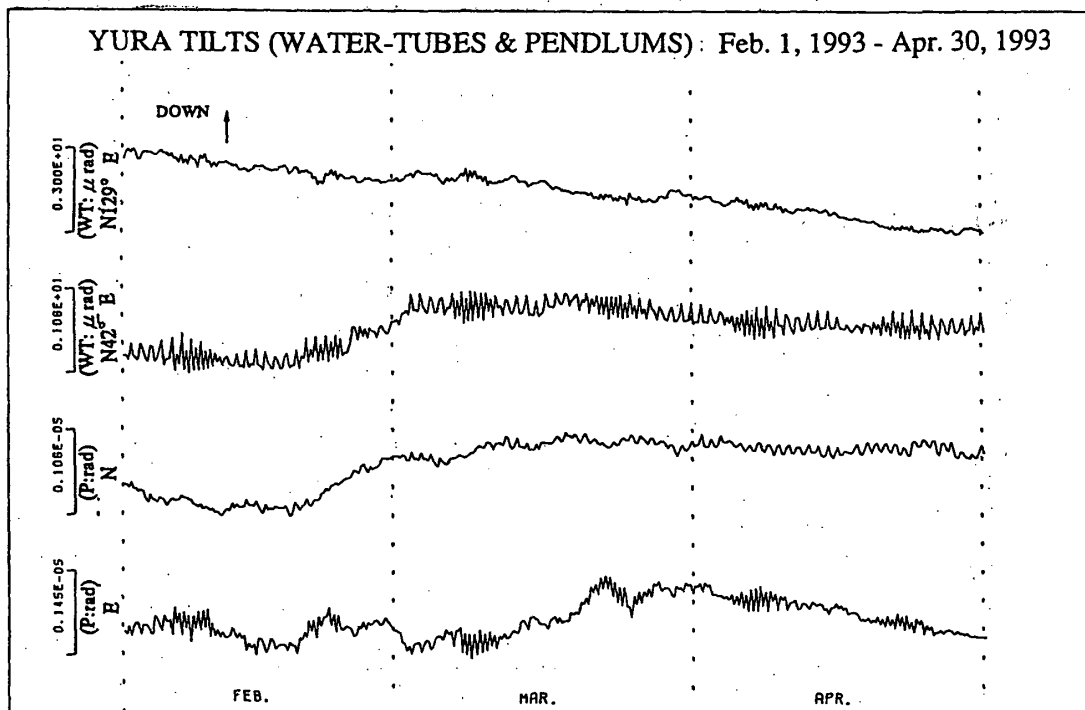
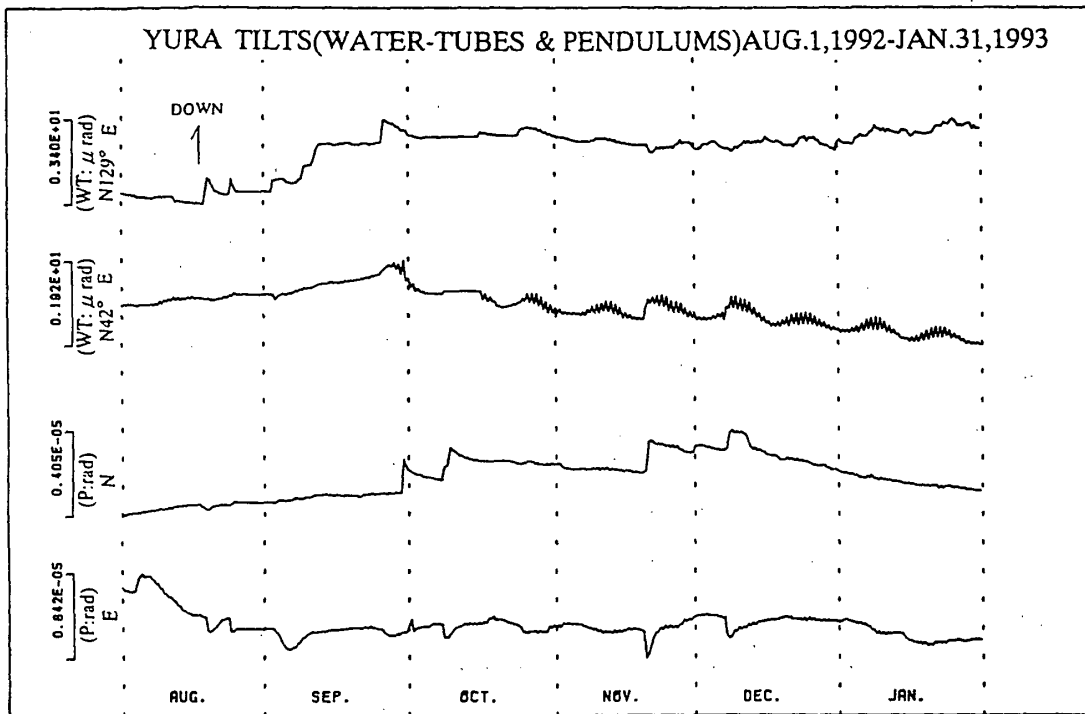
上賀茂における傾斜変化



第 8 図 上賀茂における傾斜変化

Fig.8 Tilt changes at kamigamo .

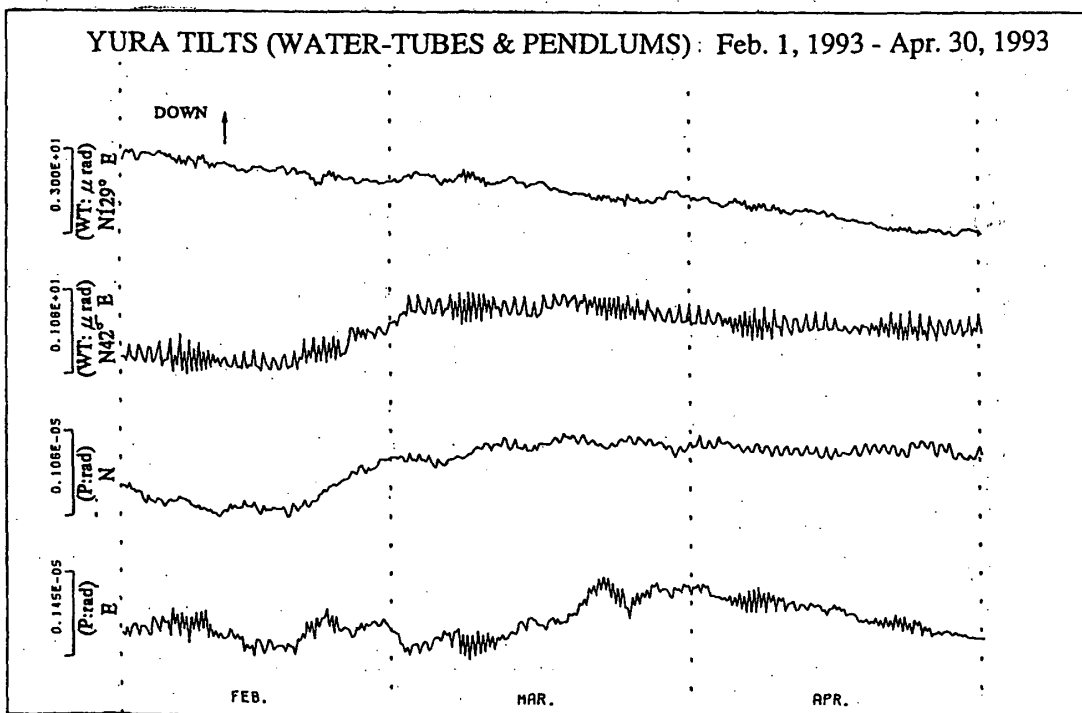
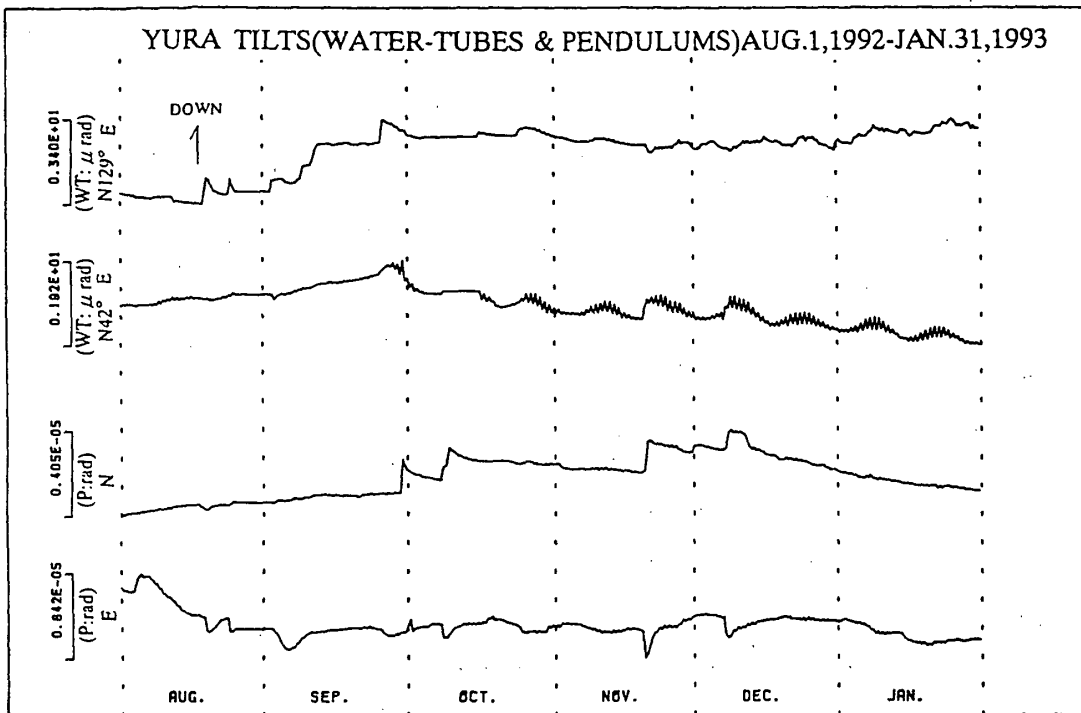
由良における傾斜変化



第9図 由良における傾斜変化

Fig.9 Tilt changes at Yura

由良における傾斜変化

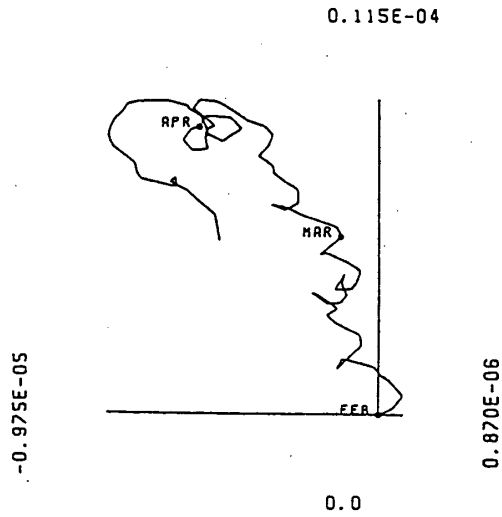


第10図 紀州における傾斜変化

Fig.10 Tilt changes at Kishu

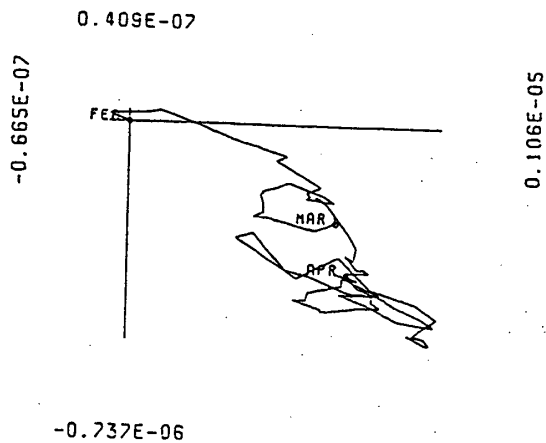
KAMIGAMO TILT(VERTICAL PENDULUMS)

FEB.1,1993-APR.30,1993



IKUNO TILT FEB.1,1993-APR.30,1993

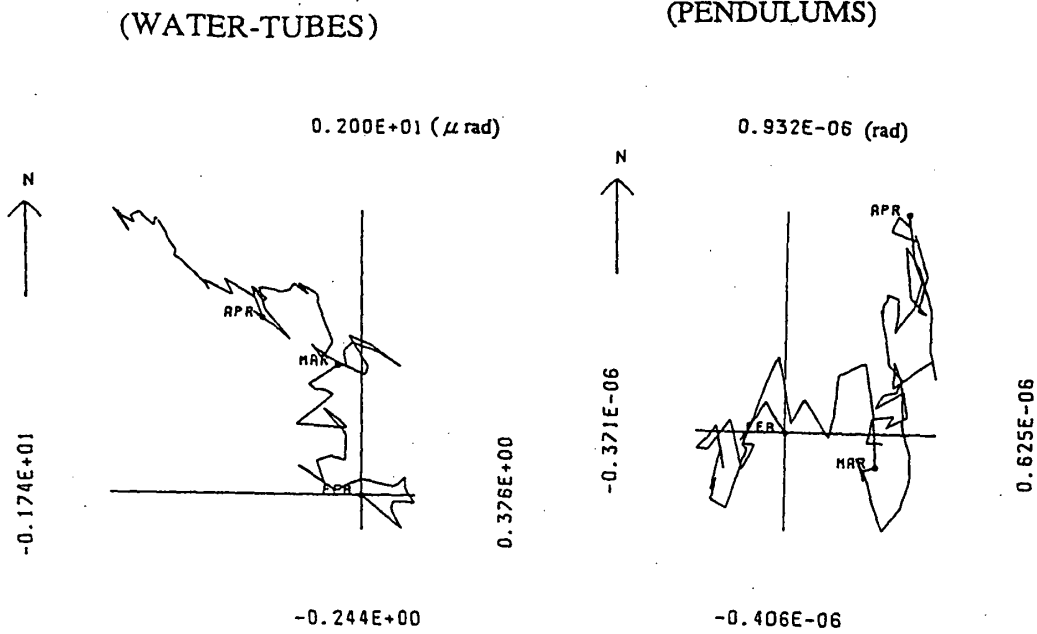
(HORIZONTAL PENDULUMS)



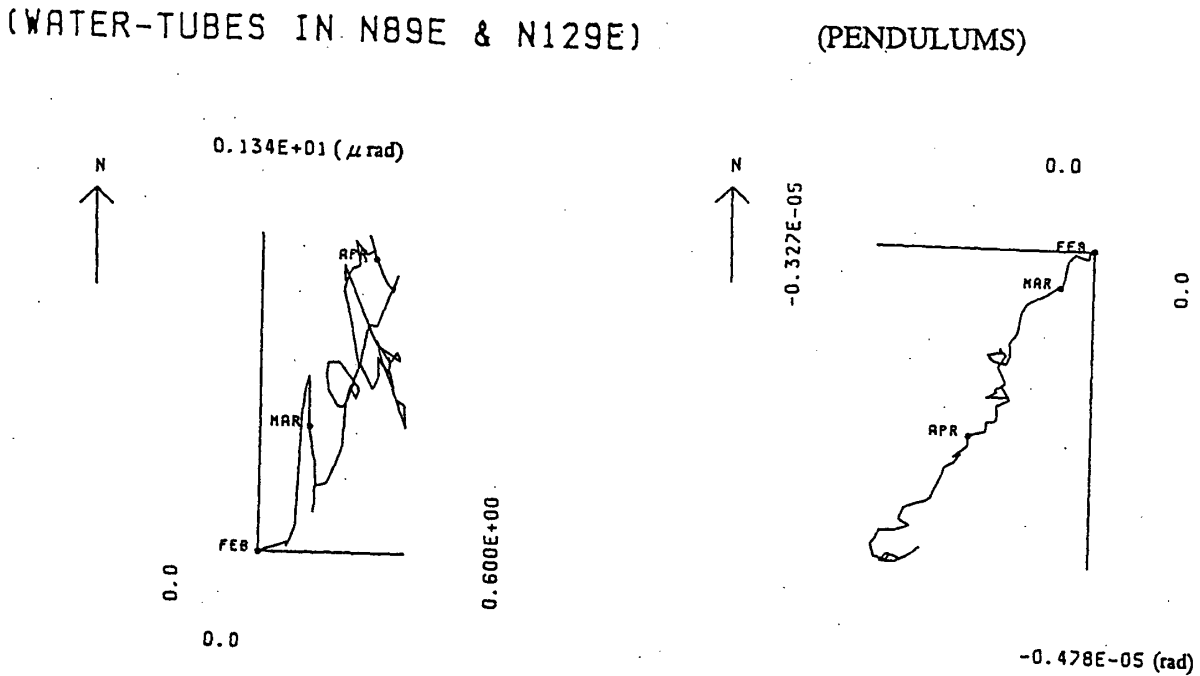
第11図 上賀茂および生野における傾斜ベクトル図

Fig.11 Vectorial presentations of tilt changes observed at Kamigamo and Ikuno with vertical and horizontal pendulum type tiltmeters, respectively.

YURA TILT FEB.1,1993-APR.30,1993



KISHU TILT FEB.1,1993-APR.30,1993



第12図 由良および紀州における傾斜ベクトル図 (酔漢と鉛直振り子)

Fig.12 Vectorial presentations of tilt changes observed at Yura and Kishu with water-tube and vertical pendulum type tiltmeters.